

NGO 相談員出張サービス実施報告書

4. 企画名：講演会 「世界の問題と子どもたち」
2. 実施者：特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン 松本謡子
3. 日時：平成 29 年 1 月 27 日（金）14:30-15:20
4. 場所：山梨高等学校 山梨県山梨市上神内川 194
5. 参加者：高校 2 年生 186 名、教諭 5 名
6. 実施報告：

NGO相談員として、途上国の子どもたちを取り巻く課題について、写真と動画を交えて紹介し、世界に目を向けるきっかけを提供し、ケースストーリーを紹介することにより、具体的に厳しい現状を生きる子どもたちの様子に目を向けた。さらに、ワークシートを使って高校生一人ひとりの行動が途上国の子どもたちにどのような影響を及ぼすか、意見をまとめた。途上国で物売りの少女に出会った想定で「買う」「買わない」の選択をし、理由と影響について発表した。物売りの子もから商品を買う選択をした生徒は143名、買わないは24名、そのほか1名となった。買うと回答した人の理由としては、「かわいそうだから」や「助けたいから」といった少女への同情がもっとも多かった。その他には「買わなかったら後悔しそう」や「見て見ぬふりはできない」といった買わないことへの後ろめたさや、「ポストカードを通してカンボジアの現状を伝えたい」「人の役に立ちたい」というような、自分にできることをしたいという意欲が買うという選択につながっている印象を受けた。買わない理由としては、「買って女の子を救えない」「お金の使い道や行き先が分からない」といった現実的な意見が多く見受けられた。また、「将来きちんとした職に就いてほしい」や「買うと児童労働を助長することになる」など、長期的な視点を持って買わないと判断している生徒もいた。中には「お金をあげる」「ほかの支援をする」などといった代替案を提示している生徒もいた。動画やワークシートで途上国の子どもたちを取り巻く課題を具体的に紹介することにより、国際協力へ理解を深める機会としてもらうことができた。

7. 所感：

NGO相談員が途上国の子どもたちを取り巻く課題について実際に会った子どものケースストーリーを紹介することにより、リアルに途上国の子どもを取り巻く課題を伝えることができ、真剣に耳を傾けてくださる生徒の皆さんの姿を嬉しく思った。

8. 別添（写真）

左：動画を見る生徒の皆さん。右：写真で途上国の子どもたちの様子を紹介

